

学校教育目標	「ふれあおう まなびあおう かがやこう」					
	<知> 共に学び合い、学習を深めようとする子を育てます。 <徳> 自他の違いを認め合い、基本的自尊感情を高め、お互いを大切にする子を育てます。 <体> 心と体を鍛え、自分や人の命を大切にする子を育てます。 <公> 地域の人や自然とふれあい、進んで関わろうとする子を育てます。 <開> 様々な人々とのコミュニケーションを通じて、お互いを理解しあえる子を育てます。					
学校概要	創立 74 周年	学校長 菊原 政臣	副校長 島田 正樹	2 学期制	一般学級: 17	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 520 人	主な関係校: 川和中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	川和中学校 川和東小学校	かかわり合い わかり合い わかち合い ～自分の中で、人の中で、まちの中で、輝く子～ 9年間で育てる資質・能力 [人々と考えや思いを共有するコミュニケーション能力] 具体的取組 「川和中ブロックで育成を目指す資質・能力と各校で目指す資質・能力を関連付けた授業づくり」
《伝え合うことで自分の考えを深化させる力》		
<主体的に取り組む力> <他者を理解する力> <自分の考えをもち、相手に分かりやすく伝える力>		

中期取組目標	○一人ひとりの児童を大切に、かがやくことができるように多様性を尊重した学校づくりを目指します。 ・活動に対して主体的に取り組む、言葉での伝え合いができる力を育てます。 ・児童指導を通して、全教職員が情報を共有し、他機関とも連携しながら課題解決に向けて取り組みます。 ・学校環境の材を生かし、地域の方々との連携を図る中で、コミュニケーション能力を育てます。 ・教職員が啓発し合い、学び続け活気のある学校運営組織の確立を推進します。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	「伝え合うことで自分の考えを深化させる力」を育成するために、「子どもが学びたい課題づくり」を教科・領域において追究していく。子どもが主体的に学びたいような課題の設定、導入の工夫をする。学習したことが実社会につながっていることを意識できるように身近な生活における問題を課題に設定する等の工夫をする。「誰もが分かる、楽しい」授業を目指し、ICT機器を積極的に活用しながら学力向上を図る。
担当 研究推進委員会	
児童生徒指導	全教職員で一貫した指導をしていくために年度始めに児童共通理解研修を行い、どの教職員でもかかわれるようにし、全ての教職員で児童を見守っていく。各学年の教員一名以上を児童指導部の担当に配置し、各学年の問題を共有したり、より細やかで柔軟に対応したりできるよう体制を整えていく。
担当 児童生徒指導委員会	
豊かな心	人やものとの関わりの中から規範意識をもち、自分らしさをのびのびと発揮するとともに、他の人のよさを認め、共に生きることを大切にする心を育てる。水田学習や出前授業等、外部機関を積極的に活用する。地域や専門の方等とのかかわりや活動を通して、規範意識 や社会参画意識などを育てる。
担当 人権福祉委員会	
特別支援教育	①家庭と連携して作成・共有した「個別的教育支援計画・指導計画」を関係職員で共有・活用していく。②関係機関と連携を図りながら、校内特別支援教室の「みのり」や通級等、支援につながる環境整備を充実させていく。③職員のスキルアップを図る研修を計画・実施する。
担当 特別支援委員会	
地域連携と社会参画	昨年度実施できなかった水田学習を中心として、地域の特色を生かし、児童が身近な社会や実生活に関心をもって、主体的に問題解決をしていく学び方を身に付ける。年度の初めに検討会議を開き、職員が連携して年間を通した活動のイメージをもつ。
担当 たわわ委員会	
安全管理	①児童自らが安全に気を配り、衛生意識を高められるように学年ごとに話し合う機会を設ける。②自然災害において、自分の身を守る力を身に付ける。
担当 防災安全部	
学校運営協議会	①学校で取り組んでいる体験的活動を積極的に発信し、地域の中での学校の役割を考え、広く意見を求める。
担当 教務部	
いじめへの対応	組織的に対応するために、いじめ防止対策委員会を開催し、その内容の詳細を職員間で共有できるようにする。いじめへの対処のための研修を行い、職員の意識を高める。児童への定期的なアンケートを実施して、未然防止や早期発見に努める。保護者、地域、関係機関とも連携し、課題を共有しながら取り組む。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①重点研究を有効に活用し、キャリアに応じた研究・研修が図れるようにする。②校務支援ツールを利用して、情報を一元化し、会議の時間の縮小を図る。③教務会を機能させ、学校全体を見通した学校経営を行う。④ITを活用し業務の効率化を図り、学校運営において時間対効果を高め、チーム力を向上させていく。⑤メンターチームでは、自分の得意なことをチーム全体に広げ、技能を共有化・データ化していく。
担当 教務部・メンターチーム	